

熊本 チーム一丸のV

都道府県対抗中学バレー

東京に2-0

JOCジュニアオリンピッックカップ第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会最終日は28日、大阪市中央体育館で男女の準決勝、決勝を行

い、男子の熊本県選抜は熊本は岡山との準決勝で得点を重ねて25-21で先取した。第2セットは大会後には表彰式があり、水町が五輪有望選手賞に選ばれた。

（合志）などのスパイクアタックなどで競り勝った。大会後には表彰式があり、水町が五輪有望選手賞に選ばれた。

▽男子準決勝	熊本 2625	岡山 2419
▽同決勝	熊本 2625	岡山 2419
▽女子準決勝	熊本 2625	東京 2421
▽同決勝	熊本 2625	東京 2421
（広島は初優勝）	広島 210	埼玉 210

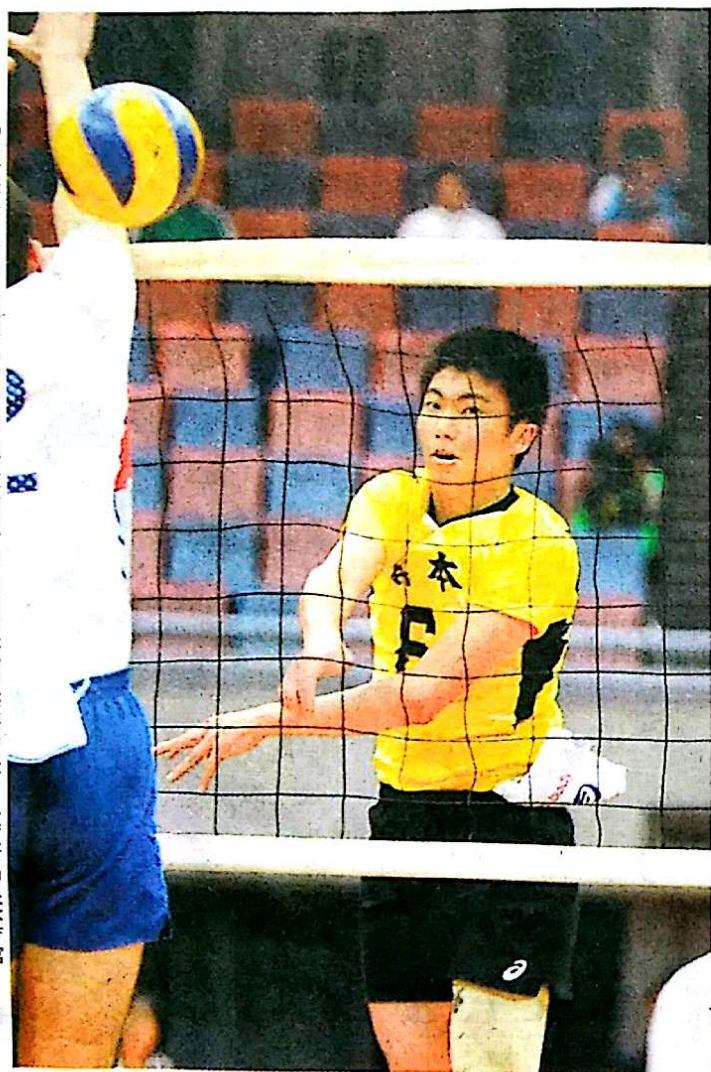
痛み耐えエース奮闘

優勝が決まった瞬間、歓喜の輪の中心は背番号6、主将でエースの水町泰杜（菊鹿）だった。決勝だけでスパイク20本を決める活躍。「この12人で優勝できて幸せです」と仲間たちを見渡した。

優勝が決まった瞬間、歓喜の輪の中心は背番号6、主将でエースの水町泰杜（菊鹿）だった。決勝だけでスパイク20本を決める活躍。「この12人で優勝できて幸せです」と仲間たちを見渡した。

優勝が決まった瞬間、歓喜の輪の中心は背番号6、主将でエースの水町泰杜（菊鹿）だった。決勝だけでスパイク20本を決める活躍。「この12人で優勝できて幸せです」と仲間たちを見渡した。

優勝が決まった瞬間、歓喜の輪の中心は背番号6、主将でエースの水町泰杜（菊鹿）だった。決勝だけでスパイク20本を決める活躍。「この12人で優勝できて幸せです」と仲間たちを見渡した。



全国都道府県対抗中学バレーボール大会で14年ぶり2度目の優勝を果たした熊本県選抜チーム

【男子決勝・熊本・東京】第2セット、バックアタックを決める熊本の水町。大阪府中央体育館